



尾瀬ヶ原自然探究活動

平成26年7月19日(土)～21日(月)の2泊3日の日程で、1・2年生の希望者15名が尾瀬ヶ原自然探究活動を実施しました。探究活動の目的は、自然や環境を自分の目で観察し、体全体で体験することにより、自然を理解し保全しようという心を育む。そして、環境問題を考えるための知識や、科学的なものの考え方・技術を身につけ、自分自身の問題として積極的に関わっていかうとする探究心や行動力を育てること。また、本校が所在する栃木県日光戦場ヶ原周辺における自然探究と隣県の尾瀬ヶ原で、高層湿原の成立と歴史やその特殊性、人間の活動や野生動物による食害が環境にどのような変化をもたらすのかを比較し、奥日光地域の自然について幅広く探究することです。

尾瀬は福島・群馬・新潟三県にまたがる日本最大の高層湿原であり、尾瀬ヶ原・尾瀬沼を中心に高山植物の宝庫である至仏山や燧ヶ岳などの山々に囲まれています。そのため、ミズバショウ・ニッコウキスゲなどの貴重な湿原植物や独特な生物を観察することができる場所として知られています。全域が特別天然記念物に指定されており、2005年には湿原生態系としての価値が評価され、尾瀬はラムサール条約湿地として登録されました。2007年には国立公園に指定されています。尾瀬のような特殊で貴重な自然環境では、人間の手によってもたらされたわずかな変化でも、全体に影響を及ぼしてしまい、復元には莫大な時間と労力がかかります。尾瀬の環境を保護するために、湿原の中を歩くときは木道を外れないようにして裸地化を防ぐことや、特殊な生態系に影響を与えないように石鹸や洗剤を使わない、ゴミはすべて持ち帰るなど、自然を守るための取り組みが必要です。実際に尾瀬の自然を観察し、自然保護活動を行うことで、貴重な自然環境を自分たちの手で守っていくのだという意識をもって学ぶことができました。

研修では、前年に観察された植物の写真をシートにまとめたものを携帯しながら自然探索を行いました。また、全体のグループを3つに分け、昨年尾瀬を探究した上級生を1名ずつリーダーとして探究活動を行いました。少人数のグループで動けたため、活動をスムーズに行うことができました。3日目は天候に恵まれ、予定していた至仏山登山を実施することができました。

また、活動後のアンケート調査では、参加した生徒全員(100%)が「今回の探究活動は、自分のためになった」と回答し、感想では「人は自然災害に勝つことはできないように、自然も人の与える害に勝つことはできない。だから、人間自身が自然を守るべきということを実感した。」など、熱いコメントを書く生徒も多かったです。今後も生徒の探究心の向上につながるよう、取り組んでいきます。



【鳩待峠での集合写真】

◇行程

7月19日(土)

7:30 11:00 11:30 12:30
学校出発 → 三池駐車場到着（乗り合いバス乗り換え） → 沼山峠（昼食） → 大江湿原

14:30 15:00 19:00 21:00
→ 長蔵小屋到着 → 尾瀬沼周辺を探究 → 長蔵小屋（ミーティング・夕食・入浴・ビジターセンター研修・消灯）

歩行距離 約 3.0 km



【沼山峠→大江湿原での集合写真】



【大江湿原での写真】



【木道を歩く様子】



【探索の様子】

7月20日(日)

5:00 5:45 7:00 8:00 9:30 13:00
起床 朝食 宿出発 → 沼尻 → 見晴 → 昼食 → 竜宮

14:00 17:00 19:00 21:00
→山の鼻小屋(ミーティング・入浴・夕食・ビジターセンター研修・消灯)

歩行距離 約 11.0 km



【図鑑を使つての探索】



【シートを使つての探索】



【大自然の中での昼食】

7月21日(月)

5:00 5:45 6:45 10:00 12:00
起床 朝食 宿出発 → 至仏山登山 → 山頂 昼食 → 下山 → 鳩待峠着

14:00 18:30
鳩待峠出発 → 学校着

標高 2228m 歩行距離 約 10.7 km



【登山の様子】



【至仏山頂上での集合写真】

3 日間で通ったルート（沼山峠～鳩待峠）



◇尾瀬で見られた花々

平成23年から観察された植物は約90種類、今年観察できた植物は約60種類。そのうち今年新たに観察することができた植物は18種類でした。

【今年新たに観察できた植物：18種類】

		
イブキトラノオ	イワイチョウ	イワシモツケ
		
エゾウサギギク	オゼソウ	オタカラコウ
		
クガイソウ	クロズル	コオニユリ

		
ジョウエツキバナノコマノツメ	ダイモンジソウ	タカネシオガマ

[4年間の観察で特にきれいな花 21 種類] (バックナンバーもご覧ください)

		
イワカガミ	カキツバタ	カラマツソウ
		
ギンリョウソウ	クガイソウ	コオニユリ
		
ゴゼンタチバナ	シナキンバイ	ダイモンジソウ
		
タカネシオガマ	タカネバラ	チングルマ

		
ニッコウキスゲ	ノアザミ	ハクサンイチゲ
		
ハクサンチドリ	ヒオウギアヤメ	ヒメサユリ
		
ミズバショウ	ヤナギトラノオ	ヨツバシオガマ